



本セミナーはこんな方にオススメです！

- 学修成果の把握、可視化について大学で進めていきたい
 - 学生向けの各種調査、アンケートの設問設計方法を学びたい
 - 学修成果の把握、可視化の事例について知りたい
- 「出口における質保証」「認証評価制度の見直し」に対応すべく、上記内容の理解を深めることを目的に実施します。

申し込み・その他

参加費無料

大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校教職員、本テーマに関心のある方ならだれでも参加可能です。右のQRコードよりお申し込みください。



学修成果の把握・可視化のための アンケート設計

【実施日時】 11月20日（木） 14:00～16:00

【実施形態】 Zoomによるオンライン

【内容】 質疑応答含む

- ・学修成果の把握・可視化で求められていること、東京科学大学における事例
- ・学生向け各種調査・アンケートの整理・設計の方法、設問設計の工夫 など

【講師】



森 雅生（もり まさお）氏 東京科学大学 戦略本部 教授

1996年 九州大学総合理工学研究科 博士後期課程単位取得後退学、2011年 同大学システム情報学府より博士（情報科学）を取得。1996年より九州大学システム情報科学研究院にて助手、2006年より同大学 大学評価情報室にて助教・准教授として大学評価・IRの研究と業務に従事、2015年より東京工業大学にて情報活用IR室専任教授に着任、2024年10月の東京医科歯科大学との統合により東京科学大学戦略本部IR部門長に就任、現在に至る。大学IRの普及と発展を目的に、大学情報・機関調査研究会（MJIR）および国際会議（DSIR）を設立。2019年、日本インスティテューショナル・リサーチ協会を有志と設立し、会長および理事としてIRの普及活動へ貢献。また、IR情報の基盤として研究者の永続的識別子（PID）の必要性に早くから注目、2020年には機関を対象とするORCID日本コンソーシアムの設立を有志とともにやり、同コンソーシアム運営委員会の委員長としてORCIDの普及と展開に寄与している。



松本 清（まつもと さやか）氏 東京科学大学 戦略本部 IR部門 マネジメント准教授

2008年に奈良女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程修了（博士（学術））。その後、産業技術総合研究所や九州大学では生体計測による環境評価研究に、立命館大学では学生支援とその成果評価に従事。2022年により現職（当時は東京工業大学企画本部）。主な所属学会・協会は、日本IR協会（理事）、日本教育情報学会、日本ビジネス実務学会、日本アカデミック・アドバイジング協会、日本体育学会、日本バイオフィードバック学会、Society for Neuroscience。

